

さがえ未来創成戦略進捗確認表 ～具体的な取組状況(基本目標1)～

基本目標 魅力ある「こと」の機会を創出し、社会動向の改善を目指す	数値目標	H31.3末値	R2.3末値	R3.3末値	左の担当課	分野	KPI	基準値	目標値(R2)	H31.3末値	R2.3末値	R3.3末値	左の担当課	具体的事業	進捗状況	R2年度及びR3年度の取組み状況(※×の場合は、実施できなかった理由を記載)																
																R2年度	R3年度(見込み)															
①有効求人倍率:全国平均並み	西村山1.25 ※寒河江1.45 (平均)	西村山1.16 ※寒河江1.46 (平均)	西村山0.77 ※寒河江0.99 (平均)	商工推進課	農工推進課	紅秀峰栽培面積	40ha (平成26年度)	55ha	51.5ha	54.6ha	56.8	農林課	○	・さくらんぼ労働力の確保(収穫期における若手短期労働者への市特産品の支給や研修会開催など)	○	R2年度	さくらんぼボランティア事業として、延べ289名の企業や学生ボランティアとさくらんぼ農家のマッチングを実施した。また、さくらんぼボランティア事業については、令和2年度からこれまで申請が無い者のみを対象とし、322人に交付した。作業研修会が新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催できず、代替としてさくらんぼ箱詰め体験キット送付事業により42名に送付し、SNS等を通じた体験内容や感想の周知等により、さくらんぼ作業労働力確保に向けた作業従事者のきっかけづくりを行った。新たに1日バイトマッチングアプリ普及に向けた研修会を開催した(参加農家18人)。	R3年度(見込み)	さくらんぼボランティア事業によるボランティアとのマッチングを行うとともに、1日バイトマッチングアプリの普及に向けた広報やさくらんぼボランティア事業による新規作業労働者確保を支援する。また、研修会については、箱詰め体験キット送付事業により代替を行う。													
																②今後6年間の社会減改善数:242人(累計) 直近5年間の社会減:-400人 今後6年間の社会減:-158人	-241人 (27.1~30.12)	-243人 (H27.1~R1.12)	-215人 (H27.1~R2.12)	企画創成課	つや姫ヴィラージュ面積	40ha (平成27年度)	80ha	45.2ha	46.7ha	50.4	農林課	△	R2年度	山形県をつや姫生産面積認定の頭打ちによる団地化の停滞中、つや姫栽培ほ場の集約により、つや姫ヴィラージュの総面積は微増。	R3年度(見込み)	山形県をつや姫生産面積認定の頭打ちによる団地化の停滞中、つや姫栽培ほ場の集約により、つや姫ヴィラージュの総面積は現状維持。
																研修受入農業経営体数	3経営体 (平成27年度)	9経営体	9経営体	10経営体	10経営体	農林課	○	R2年度	・市産紅秀峰におけるトップブランドづくりを推進するため「さがえルビー紅秀峰」ポスター、ブランディングカード作成した。 ・紅秀峰の輸出において、台湾、マレーシア、シンガポール、香港に向けた輸出を実施した。	R3年度(見込み)	・紅秀峰品種登録30周年記念事業の実施 ・紅秀峰の輸出について継続実施					
																								新規就農者数	53人 (累計:平成22年~26年)	70人 (累計:平成27年~令和2年)	56人	86人	86人+α ※R2年度の数字はR3.5月現在で県が調査するためR3.11月頃にかかる予定	農林課	○	R2年度
																農産物	地域伝統野菜(子姫芋など)や秋豆などの生産体制の強化(組織化及び組織強化等)	生産体制強化と販路確保に向けた支援を実施。子姫芋のGI取得に向けた体制作りを実施。	○	R2年度	・子姫芋の生産拡大を図るため、管理機の導入を支援 ・子姫芋のGI取得に向けた勉強会を開催(生産者18名参加) ・子姫芋レシコンクールを開催し、県内外における知名度向上を図った。	R3年度(見込み)	・子姫芋の生産拡大を図るため、管理機の導入を支援 ・子姫芋のGI取得に向けた体制作りを実施。									
																				継続的な生産を支え、作業効率化などを図る設備への支援(高所作業車や雨よけテントなどの設備投資の補助など)	○	R2年度	・さくらんぼ作業負担軽減安全確保事業において、高所作業車・乗用車刈機、さくらんぼ選果機導入を支援するとともに、新たに電動剪定ばさみを支援対象印追加し、作業負担軽減を推進(17件補助) ・紅秀峰雨よけハウス(17.2a)及び省力栽培雨よけ施設(40.9a)の整備を支援。また、さくらんぼ加温ハウス(38.7a)の整備を支援した。 ・更なる作業効率化を推進するため、スマート農業機械(オートモア)の導入に向けた実証事業を実施した。	R3年度(見込み)	・さくらんぼ作業負担軽減安全確保事業において、高所作業車・乗用車刈機、さくらんぼ選果機、電動剪定ばさみ導入を支援対象とし、作業負担軽減を推進(20件補助) ・紅秀峰雨よけハウス及び省力栽培雨よけ施設等の整備を支援。 ・作業効率化に向けたスマート農業機械導入を支援							
																				後継者への円滑な経営移譲の支援	○	R2年度	就農フェアへの出展や、オンラインによる就農ミーティングを実施する。S14.S21。また、新規就農者への住宅支援、営業支援を継続実施。その他、村山地区の各市町と県が連携して、就農希望者の円滑な就農・経営開始・定着まで支援できるようにするための研修会を実施。	R3年度(見込み)	・寒河江市担い手の会と連携し、若手農業者の経営基盤の強化及び生産体制の安定化に向け、販路開拓勉強会や販売戦略セミナー、会員の圃地視察等を実施する。また、若手農業者グループによる情報共有ネットワークを活用していく。 ・今年度の新規事業である経営継承・発展等支援事業を活用し、後継者への円滑な経営移譲を支援していく。							
																				新規就農者の受入れ体制の拡大(受入農業経営者への支援など)	○	R2年度	市内の認定農業者に文書にて受入農家に係る協力を要請し、受入農家件数は昨年度と同数の10件であった。また、新規就農者支援育成協議会に協力を要請し、新規就農者の圃地確認及び面談による指導を実施。また、当協議会により新規就農者相談会(就農相談者12名)をコロナ対策のため書面により開催。新規就農者の定住促進の観点から住宅支援(3名)を実施。	R3年度(見込み)	新規就農者支援育成協議会に対して協力を要請し、農業次世代人材投資資金交付者に対しサポーター(技術・資金・農地)を任命し支援するとともに、新規就農者の定住促進の観点から継続して住宅支援(3名)を実施する。							
																				新規就農者(リターン者などを含む)の確保等の強化	○	R2年度	就農フェア等(3回うち2回はオンライン)への出展(相談者数31人)を実施。就農体験ツアー(1泊2回)及び農業体験(1泊1回)はコロナ対策のため未実施。また、新規就農者への住宅支援、営業支援を継続実施。山形県担い手支援課と新規就農者の営業の現状や支援策等について意見交換会を実施。	R3年度(見込み)	就農フェアへの出展や、オンラインによる就農ミーティングを実施する。また、新規就農者への住宅支援、営業支援を継続実施。その他、村山地区の各市町と県が連携して、就農希望者の円滑な就農・経営開始・定着まで支援できるようにするための研修会を実施。							
																				農地集積・集約に向けた農地の流動化の促進(農地中間管理事業の促進など)	○	R2年度	農地賃貸借の契約更新時に農地中間管理事業を利用するよう呼びかけるとともに、農地中間管理事業推進会議を開催(9地区)し、農用地利用集積を推進(205件89ha)	R3年度(見込み)	農地賃貸借の契約更新時に農地中間管理事業を利用するよう呼びかけ、農用地利用集積を推進。							
6次産業化に向けた組織設立や地産地消の促進など地域内流通等を強化する取組	○	R2年度	・市内農業者や商工業者の連携強化を図り、6次産業化を推進するための戦略を策定した。 ・市内農業者と商工業者の連携による6次産業化を推進するため、マッチング交流会を開催した。 ・市産ブドウ100%のワイン造りを支援した。 ・学校給食において「さがえのごっつお給食」等を継続的に実施するとともに、JAアグリランドの協力による「アグリランド運営委員会学校給食生産クラブ」等を通じて、年間を通じた地産の農産物利用を行った。また、寒河江産の国産牛や紅秀峰をスベンシャルメニューとして給食に取り入れた。	R3年度(見込み)	・市内農業者と商工業者の連携による6次産業化を推進するため、マッチング交流会を開催 ・学校給食に寒河江の郷土食を取り入れるとともに、「アグリランド運営委員会学校給食生産クラブ」の協力を得て、年間を通じた地元農産物を利用していく。																											
企業支援ニーズ発掘調査及び支援情報の発信(企業訪問、説明会、メーリングリスト発信など)	○	R2年度	メルマガ「さがえ企業支援だより」を通じて新型コロナウイルスに関する支援策などの企業支援情報を発信(登録件数104件/配信回数17回)するとともに、市内の企業訪問を実施した(企業訪問37件)。施策説明会は新型コロナウイルスの状況もあり、開催を中止した。	R3年度(見込み)	メルマガで企業向けの支援策等の情報提供を行うとともに、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を判断しながら可能な範囲で訪問又は電話等での企業情報の収集、施策説明会の開催を実施していく。(企業訪問見込み件数90件)																											
地域資源等を活用した新事業への支援(国・県事業との連携した販路開拓や設備投資など)	○	R2年度	・国内外の見本市への出展に対して、市の販路拡大支援事業の補助を実施したが、新型コロナウイルスの影響もあり、利用は少なかった(見本市1件)。設備投資への支援については、製造業2社への補助を行った。	R3年度(見込み)	今年度からオンライン展示会への出展も対象とし、国内外の見本市への出展に対して、市の販路拡大支援事業の補助を実施する。また、引き続き、設備投資への支援も行っていく。																											
ハローワークさがえと連携した企業の魅力PRやマザーズジョブ等を通じた人材確保への支援	○	R2年度	ハローワーク、山形県との共催で就職面談会を計1回(市内1回)を開催した。また、市商工会(西村山雇用対策協議会)、ハローワークと共催し、西村山管内の地元企業と先生(進路指導主事)との就職に向けた情報交換会を開催した。	R3年度(見込み)	新型コロナウイルスの状況をみながら、就職面談会や高校進路指導情報交換会、マザーズジョブを実施していく。																											
企業誘致・定着の促進(地域再生計画の策定、工業団地の拡張等)に係る可能性調査の実施	○	R2年度	1社(運送業)に寒河江中央工業団地の約1.8haを分譲し、倉庫建設に着手した。また、2社(産業ガス製造業・自動車付属品修理販売業)が操業を開始した。	R3年度(見込み)	分譲中の用地に関する情報発信し、新たな企業の誘致を図るとともに、進出企業へのアフターフォローを実施していく。																											
創業支援事業計画の策定	○	R2年度	西村山1市4町と連携した創業セミナーを1回開催(8名参加)するとともに、創業者などをターゲットとした空き店舗等対策事業の補助を実施した(4件)。	R3年度(見込み)	新型コロナウイルスの状況を見ながら、秋以降に創業セミナーを開催する。																											
創業支援対象者数及び創業者数(第2創業含む)	○	R2年度	創業後の安定経営を支援する観点から、起業創業支援(10件)及び創業者ビジネスネットワーク構築支援(9件)を実施。	R3年度(見込み)	起業創業支援及び創業者ビジネスネットワーク構築支援を実施し、新規創業者の経営安定化を図っていく。																											
空き店舗情報の発信強化(空き店舗バンクの創設等)	○	R2年度	市ホームページに地図情報や店舗内写真などの詳細な空き店舗情報を集約した空き店舗バンクを掲載し、情報を発信した。	R3年度(見込み)	不動産業者からの情報収集に努め、空き店舗情報を随時更新しながら、物件情報の発信を継続していく。																											
事業承継に取り組む中小企業への支援	○	R2年度	事業承継を後押しするための事業承継補助制度をPRしたが、制度利用には至らなかった。	R3年度(見込み)	今年度は補助制度がなくなりましたが、国や県などの施策をPRし、事業承継について支援していく。																											

※事業島の進捗状況: ○→R2年度までに実施済み △→R3年度中に実施見込み ×→今後実施見込みなし

さがえ未来創成戦略進捗確認表 ～具体的な取組状況(基本目標2)～

基本目標 地域資源を磨いて魅力を発信することで交流人口及び定住・移住人口増を図り、社会動態の改善を目指す	数値目標	H31.3末値	R2.3末値	R3.3末値	左の担当課	分野	KPI	基準値	目標値(R2)	H31.3末値	R2.3末値	R3.3末値	左の担当課	具体的事業	進捗状況	R2年度及びR3年度の取組み状況(※ ×の場合は、実施できなかった理由を記載)	
	①寒河江市を訪れた観光客数:353万人	355.1万人	340.5万人	185.3万人	さくらんぼ観光課	観光振興	観光客数	343万人(平成26年度)	353万人(令和2年度)	355万人	340万人	185万人	さくらんぼ観光課	・新たな観光資源の発掘・整備(チェリーランドの再整備に係る検討、桜回廊及び慈恩寺ガイダンス施設の整備など)	○	R2年度	チェリーランド再整備計画に基づく設計。慈恩寺ガイダンス施設の建設。
②今後6年間の社会減改善数:242人(累計)直近5年間の社会減:-400人今後6年間の社会減:-158人	-241人(27.1~30.12)	-243人(H27.1~R1.12)	-215人(H27.1~R2.12)	企画創成課	宿泊者数		3.6万人(平成24~26年度平均)	5万人	5.3万人	5.3万人	3.4万人	さくらんぼ観光課	・西村山などにおける広域観光の連携強化(西村山DMOやフルーツライン左沢線活用協議会との連携など)	○	R2年度	西村山1市4町で組織する「山形どまんなか探訪プロジェクト会議」で旅行商品の造成、区域内を回るスタンプラリーの実施、独自の観光パンフレットの作成などの事業を展開。やまがた雪フェスティバルや各自治体での観光イベントの実施にあたり、フルーツライン左沢線活用協議会(県及び1市6町等)による事業検証等を実施。	
					外国人観光客数		約1,500人	2,500人	3,600人	5,600人	-	さくらんぼ観光課	・訪日外国人の受入体制の整備(無料公衆無線LAN整備や消費税免税店に係る支援など)	○	R2年度	観光客向け公衆トイレの洋式化及び外国人観光客対応総合観光案内所の整備	
					観光物産協会等のホームページアクセス数		7.2万回	8万回	8.3万回	11万回	9.9万回	さくらんぼ観光課	・冬の新たなシンボルイベントなどの四季それぞれの集客力あるイベントの開催	○	R2年度	新型コロナウイルスの影響により、集客力のあるイベントが実施できなかった	
					イベント域外参加率		83%	85%以上	91.7%	93.2%	-	さくらんぼ観光課	・戦略的な観光振興の実施(寒河江市観光振興戦略の策定など)	○	R2年度	コロナ後のインバウンドの推進も視野に観光案内所の強化を図った。JNTOの認定制度については、窓口体制を整備し、カテゴリⅡを取得。また、市内の温泉宿泊施設の支援を図るため寒河江温泉特得キャンペーンを実施	
					観光振興戦略の策定		-	策定(平成28年度中)	-	-	-	さくらんぼ観光課			R3年度	ARを活用した市内周遊観光アプリの制作、寒河江温泉特得キャンペーンの継続	
					移住・定住支援	移住交流ポータルサイト等のアクセス数	-	1万回	12154回	13,281回	17,497回	企画創成課	・移住支援体制の整備(移住希望者向けの相談窓口の設置やハローワークとの連携など)	○	R2年度	移住者向けの補助制度などの相談について移住希望者専用相談窓口(企画創成課)で受付。移住相談会としてやまがたハッピーライフカフェ(オンライン開催)、やまがた暮らし大相談会(会場+オンラインのハイブリッド開催)へ参加。ハローワーク、山形県との共催で就職面談会を計1回(市内1回)を開催した。また、市商工会(西村山雇用対策協議会)、ハローワークと共催し、西村山管内の地元企業と先生(進路指導主事)との就職に向けた情報交換会を開催した。	
						移住相談件数	-	669件(累計:平成27~令和2年度)	446件(+147)	529件(+83)	595件(+66)	企画創成課 建設管理課 市民生活課	・若者Uターンへの支援(独自奨学金返還支援制度の創設)	○	R2年度	山形県若者定着奨学金返還支援事業(在学生が対象)において16名を認定。また、寒河江市若者定着支援未来創成事業(Uターン若者夫婦が対象)において3名認定。	
						U・I・Jターン住宅支援件数	20件(累計:平成24~26年度)	409件(累計:平成27~令和2年度)	273件(+95)	354件(+81)	479(+125)	企画創成課 建設管理課 市民生活課	・Uターン子育て世代向けへの家賃補助などの移住定住に向けた住宅支援	○	R2年度	定住促進賃貸住宅家賃補助事業(38件・119人)、子育て定住住宅建築事業(移住者分79件・214人)、結婚新生活支援事業(6件・15人)、新規就農定住促進支援事業(2件・5人)により移住定住に向けた住宅支援を実施。	
						シティプロモーション戦略の策定	-	策定(平成27年度中)	策定済	策定済	策定済	企画創成課	・戦略的な魅力発信(シティプロモーション戦略の策定や移住・交流ポータルサイトの開設など)	○	R2年度	市HPにシティプロモーションを行う情報を掲載。市シティプロモーションサイト「さがえ、心地」を設置。移住ガイドブックを作成し、「さがえ、心地」に掲載。「やまがたハッピーライフ情報センター(ふるさと回帰支援センター内・東京都)」「さがえもん(仙台市)」で配布。移住相談者への資料として適宜送付。フリーペーパー等へ市PR記事掲載。山形連携中核都市圏での取り組みとして、圏域移住ポータルサイト「ポータル!やまがた!」に寒河江市ページ、取材記事を掲載。	
														・仙台をはじめとする大都市とのネットワーク構築・強化(ふるさと納税などにより寒河江に縁ができた方を対象とした寒河江ファンクラブの創設や寒河江出身者等の会との連携強化など)	○	R2年度	仙台寒河江会会員に対し市関連情報を発信。ふるさと納税などにより寒河江に縁ができた方に対し、更なるリピーター人口の獲得に向けた情報発信等を行い、ネットワークの構築・強化を図る。
													・地域おこし協力隊の積極的受入	○	R2年度	地域おこし協力隊を2名配置し、「NPO法人の支援や支援を通じた地域の環境保全活動等」「スポーツ振興を通じた地域活性化」を目的として活動。	
															R3年度	地域おこし協力隊を2名配置し、「NPO法人の支援や支援を通じた地域の環境保全活動等」「スポーツ振興を通じた地域活性化」を目的として活動。年度内に「移住定住施策の推進」を目的として新たに1名受入予定。	

※事業毎の進捗状況: ○→R2年度までに実施済み △→R3年度中に実施見込み ×→今後実施見込みなし

さがえ未来創成戦略進捗確認表 ～具体的な取組状況(基本目標3・共通目標)～

出基本目標・出生数・結婚・出産・子育て推進課	数値目標	H31.3末値	R2.3末値	R3.3末値	左の担当課	分野	KPI	基準値	目標値(R2)	H31.3末値	R2.3末値	R3.3末値	左の担当課	具体的事業	進捗状況	R2年度及びR3年度の取組み状況(※×の場合は、実施できなかった理由を記載)		
																R2年度	R3年度(見込み)	
出生数・結婚・出産・子育て推進課	①合計特殊出生率:1.7人	—	1.55 (H30.1～12)	1.69 (R1.1～12)	子育て推進課	結婚・出産・子育て支援	婚姻率	4.4 (平成25年度)	5	4.2 (平成30年度)	3.8 (令和元年度)	—	企画創成課 市民生活課	・結婚活動への支援(婚活コーディネーターや結婚支援活動団体への支援など)	○	R2年度	婚活コーディネーターによる市内成婚数の実績は2件となり、R1年度の0件と比較しても一定の成果が得られた。また、婚活支援団体への活動費支援は1件、結婚新生活支援は5件の実績であった。	
	②出生数:平成31年 320人	289人 (H30.1～12)	297人 (H31.1～12)	271人 (R2.1～12)	企画創成課		山形いきいき子育て応援企業数	34社 (平成26年度)	50社	—	14社	14社	子育て推進課	・妊婦から子育てまでの切れ目のないソフト支援「寒河江型ネウボラ」(子育て世代包括支援センター活動の推進、子育て支援ガイドブックの作成・配布など)	○	R2年度	さがえこうのとりの応援事業における対象者の条件から、「前年の夫婦合算所得額730万円未満」を撤廃した。	
							子育て支援に満足している方の割合	— ※子育て支援に不満に思わない割合 63.7%(就学前児童保護者に限る)	70%以上	子育て支援に不満に思わない割合 76.2%(就学前児童保護者に限る)	子育て支援に不満に思わない割合 76.2%(就学前児童保護者に限る)	子育て支援に不満に思わない割合 76.2%(就学前児童保護者に限る)	子育て推進課	・子ども・子育て世代への経済的支援の強化(医療費無料化の対象拡大、任意予防接種助成の対象拡大、学校給食の無料化、幼児教育・保育無償化)	○	R2年度	・保育所・幼稚園等に通う多子世帯の負担軽減を図るため、①同時入所の第2子(0～2歳)の保育料無料、②同時入所以外の第2子(0～2歳)の保育料半額、③同時入所の第2子(3～5歳)の副食費無料化を実施した。 ・小学校給食費は、1食300円のうち、160円を助成し、第3子以降は全額助成した。中学校給食費は、1食330円のうち、175円を助成し、第3子以降は全額を助成した。	
共通目標						まちづくり								・子ども・子育てインフラの充実化(保育施設改築、放課後児童クラブの整備充実及び遊具施設や児童公園等の整備充実など)	○	R2年度	市立みなみ保育所を廃止し、指定管理者により「南部ひまわりこども園」を建築した。	
															・働く女性への支援(働く女性応援プランの策定など)	○	R2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のためマザーズジブは休止していた。
															・都市計画マスタープランの全体構想と連動したまちづくりの推進	○	R2年度	中心市街地を通過する必要のない大型車両等を城外通行に誘導するなど中心部の交通環境の向上を図るため、中心市街地を囲むように形成する内回り環状線の都市計画道路、落衣島線(西根地内)の用地補償等の実施
															・住宅団地造成の促進及び住宅取得の支援	○	R2年度	良好な住環境の整備促進を目的とした宅地開発事業者への助成を実施(4件)個人の住宅取得への補助を実施(158件)
															・空き家バンクの拡充等の空き家対策の推進	○	R2年度	県司法書士会、県宅建協会寒河江と合同で空き家相談会を実施(4件)
															・フロアSAGAEなどを活用した中心市街地の活性化(中心市街地の活性化を推進する計画の策定など)	○	R2年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ちえり～マルシェの通常開催は中止したが、朝市は開催(2回:のべ参加者数300人)。また、寒河江料理飲食業組合感謝祭(参加者数1,500人)を開催した。
															・空き店舗の活用や克雪の観点を踏まえたまちづくりの推進	○	R2年度	・地図情報や店舗写真などの詳細な空き店舗情報を集約した空き店舗バンクの情報を随時更新し、情報を発信した。 ・雪対策としては、雪の総合窓口の設置や除雪情報管理システムを導入し、きめ細やかな除雪の実施(一斉除雪19回)
															・生活サービスを効率的に提供するネットワーク(公共交通等)や地域の拠点づくり	○	R2年度	公共交通機関としてデマンドタクシーや循環バスを運行。市報に循環バスの特集記事を掲載し、周知を行った。また、利用者の利便性向上を目的に、循環バス(北部ルート)に停留所「宝東」を新設した。
															・きめ細やかな地域づくり支援を通じた地域の拠点化(廃校の利活用など)	○	R2年度	NPO法人葉山の里たしろが学びの里TASSHOIにおいて宿泊事業や里山レストラン「たしろ亭」などのコミュニティビジネスを実施。地域の団体が取り組む地域づくり活動を支援するための補助事業として地域づくり応援事業を実施。
															・森林資源等の地域資源を活用したまちづくり(公共施設における地元産材の活用など)	○	R2年度	いこいの森及びチェリーランドさがえに県産材を利用したベンチ等を設置し利用普及を推進。

※事業毎の進捗状況: ○→R2年度までに実施済み △→R3年度中に実施見込み ×→今後も実施見込みなし